

女子短大生の下着に関する調査

酒井清子

Investigation on the Women's Under Wear of College Girls

by

Kiyoko SAKAI

緒言

洋服の下着には、保温とか皮膚の清潔を保つ目的また上着の形を整える目的があるが、服の形は千差万別で流行がある。現在の下着の役目としてはその服の形をくずさないこと、美しく引き立てること、布地の性格を生かすことなどが必要なことがらと思われる。そこで、現在一般に着用している下着を、その使用目的によって3つに大きく別けて枚数、形、材質、色彩、洗濯方法などについて調査した結果を報告する。

調査方法

A 調査目的

下着を下に記した3つに大きく別けて調査した。

(1) ファンデーション

体の形を整え欠点を補ない、体の土台を作る下着である。たとえば、ブラジャー、コルセット、ウエスト・ニッパ、ガードルなどがある。

(2) ランジェリー

ファンデーションの上に着て上着の形を円滑にする。これは中着ともいう。たとえば、スリップ、ペチコート、キャミソル、寝間着などがある。

(3) アンダーウエア

肌着つまり皮膚の汚れを吸収したり、保温の目的に着る下着で、たとえば、シャツ、パンティ、ブルマースなどがある。

B 調査対象

女子短大生（年齢満18才～19才）150名。

C 調査期間

昭和38年7月～39年6月の1年間。

D 調査方法

この調査は、質問形式を用いて行なった。調査内容を、4項に大きく別けて内容は次のようである。

1. 種類、枚数、形、色彩、材質、織方。
2. 洗濯の方法、回数、洗剤。
3. 購入時の注意、既製品、場所、金額、メーカー。

調査結果および考察

調査の結果は次のようであった。下着の種類別分類は Table. 1 (1), (2), (3)のように、(1)ファンデーションでは、3種類のみ使用していた。

Table. 1 下着の種類

(1) ファンデーション

種類	所持枚数	1人当たり平均枚数
ブラジャー	276	1.91
コールセット	33	0.22
ガードル	67	0.45

(2) ランジェリー

種類	所持枚数	1人当たり平均枚数
スリッパ	722	4.81
キャミソール	6	0.04
ペチコート	88	0.59
着物式寝間着	162	1.08
ネグリジェ	241	1.47
パジャマ	163	1.09
部屋着	6	0.04
毛糸のチョッキ	6	0.04

(3) アンダーウェア

種類	所持枚数	1人当たり平均枚数
シャツ	1,031	6.87
シュミーズ	119	0.79
★パンティ★	570	3.80
ブルマース	180	1.20

ブラジャー：胸の形を整えるために使用する (Fig. 1 の 1 参照)。

コールセット：腹部やお尻の形を整えるために使用する (Fig. 1 の 2 参照)。

ガードル：靴下を吊る程度の簡単なもので下着を押えるのに役立つ、ガーターベルト式のものを使用している人が多かった (Fig. 3, 4 参照)。

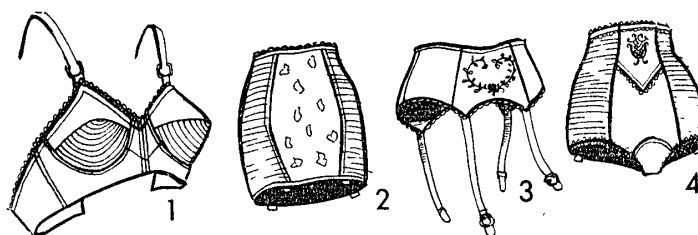


Fig. 1

以上3つは上着を美しく着る土台になる下着である。

(2) ランジェリーは、8種類使用していた。

スリップ：上着と肌着の間に着るもので、何枚も着た下着をおおい上着の形を整えるのに用いる。(Fig. 2の5参照)。

キャミソル，ペチコート：スリップを和服の長襦袢にたとえるなら，キャミソル，ペチコートは半襦袢と裾よけのようなもので，スリップを上下に分けたものをいう。上をキャミソル下をペチコートと呼んでいる。(第2図6，7参照)。

寝間着：寝間着を，着物式，ネグリジェ，パジャマ，部屋着(ガウン)に分けて考えた。(Fig. 3の8，9，10，11参照)。

着物式寝間着は，単裁長着で袖は，元禄袖および筒袖であった。ネグリジェは，夜のドレスのことである。パジャマは，活動的な夜のウェアである。部屋着は，寝間着の上に着る丹前のようなものである。

(3) アンダーウェアでは，4種類使用していた。

シャツ，シュミーズ：一番下に着る肌着のことで，シュミーズのように衿ぐりが大きくストラップのあるもの，半袖，七分袖，長袖シャツなどのものがある。(Fig. 4の13，14参照)。

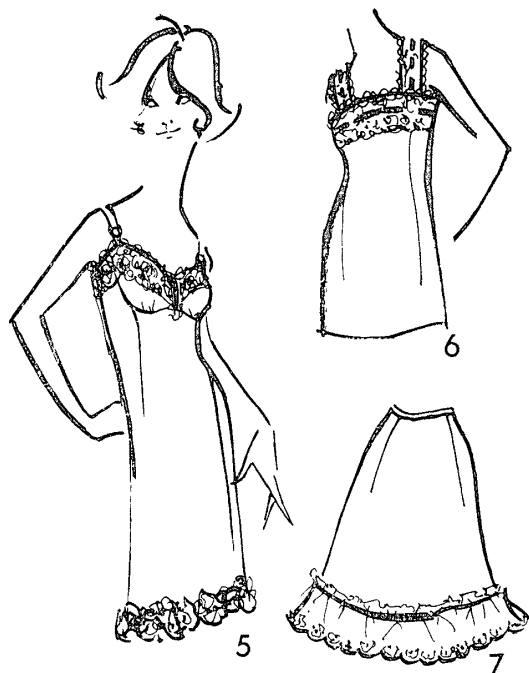


Fig. 2

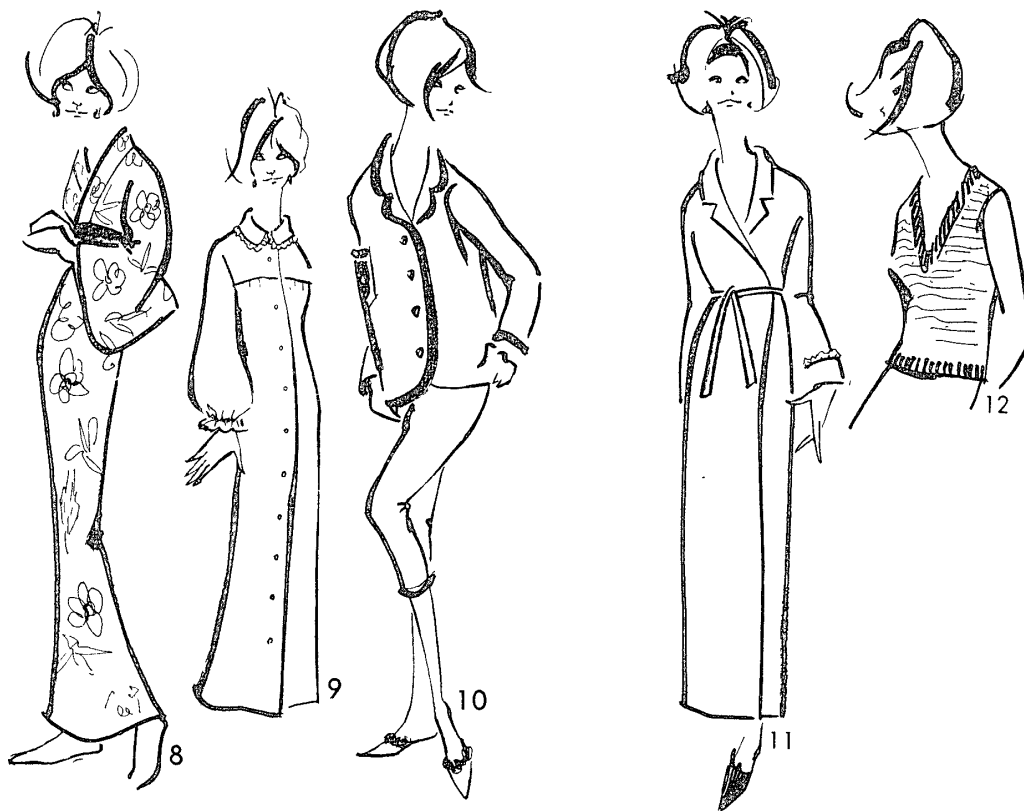


Fig. 3

パンティ：普通下穿ぎのことでズ
 ロースともいわれる。(Fig. 4の15,
 16参照).

ブルマース：ウエストラインがゴム
 で長さが自由で、パンティの上に
 用いられる。この中にはズボン下に
 穿くのも入れた。(Fig.4の17参照).

以上が簡単な調査で見られた形の
 内容である。それぞれの所持枚数は
 第1表に示したように、ブラジャー
 は2枚弱(以下すべて1人当りの枚
 数を示す)持っているが、コルセッ
 トは0.22枚、ガードルは0.45枚で、
 持っていない人のあることが判る。

スリッパは5枚弱持っている。キ
 ャミソルはわずか0.04枚で、ペチコートも0.59枚と少ない。着物式寝間着は1枚強、ネグリジェは1枚強、パジャマは1枚強で着物式寝間着、ネグリジェ、パジャマを1枚づつ寝間着用として3枚は持っているようである。部屋着、毛糸のチョッキも0.04枚で使用している人は少ない。(Fig. 3の11,12参照).

シャツは7枚弱持っており、シュミーズは0.79枚と少なく、パンティは4枚弱、ブルマースは1枚強のようであった。次に下着の型態について見ると第2表のように、スリッパはカラーありはまったくない。袖ありはないのが4.67枚に対しあるのは0.09枚とわずかであるが、最近袖のあるものが、ウインタムという名で市販されている。明きもほとんどなく0.01枚のみ明きありが見られたのみである。ネグリジェはカラーあり1.38枚でなしは0.23枚で、カラーの種類が多かったのは、ショールカラー、フラットカラー、ヘチマカラー、チャイナカラーの順である。袖ありは、袖なし0.04枚に対し袖あり1.57枚であった。なお袖丈の長さは長袖、半袖、七分袖の順で、ちようちん袖もわずかある。パジャマはカラーなしが0.25枚に対し、カラーあ

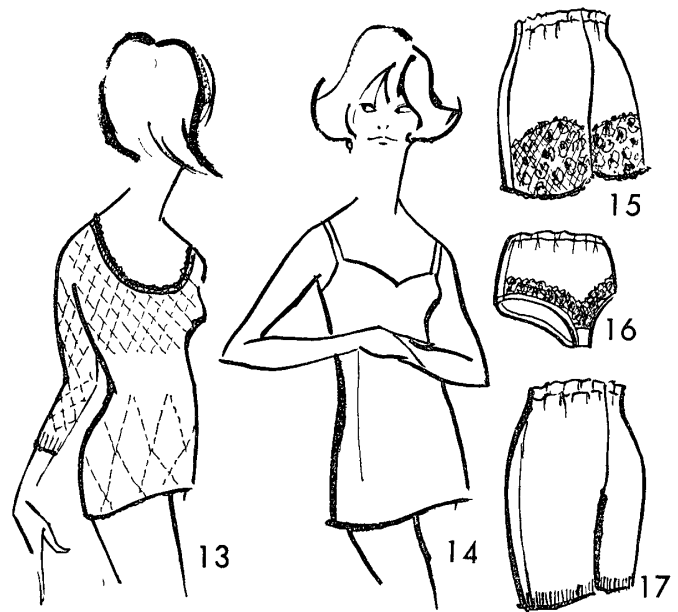


Fig. 4

Table. 2 型 態

種 類	カラーの有無				袖の有無				明きの有無			
	カラー有		カラー無		袖有		袖無		明き有		明き無	
	所持枚数	一人当り平均枚数	所持枚数	一人当り平均枚数	所持枚数	一人当り平均枚数	所持枚数	一人当り平均枚数	所持枚数	一人当り平均枚数	所持枚数	一人当り平均枚数
スリッパ	0	0	722	4.81	13	0.09	709	4.67	2	0.01	720	4.80
着物式寝間着	162	1.08	0	0	162	1.08	0	0	162	1.08	0	0
ネグリジェ	207	1.38	34	0.23	235	1.57	6	0.04	231	1.54	10	0.07
パジャマ	126	0.84	37	0.25	161	1.07	2	0.01	160	1.07	3	0.02
部屋着	5	0.03	1	0.01	6	0.04	0	0	6	0.04	0	0
シャツ	0	0	1,031	6.87	967	6.45	64	0.43	502	3.35	537	3.58
シュミーズ	0	0	119	0.79	0	0	119	0.79	119	0.79	0	0

りが0.84枚で、カラーの種類もショールカラー、テラーカラー、フラットカラー、ヘチマカラーの順である。袖ありは袖なし0.01枚に対し袖あり1.07枚で袖丈の長さは、ネグリジェとまったく同じ順序である。明きは、ネグリジェ、パジャマともほとんど前明きである。部屋着はカラーありがほとんどで、ヘチマカラー、テラーカラーの順で袖は全部、長袖で前明きである。シャツは、全部カラーなしであるが、ネックのカットデザインは、V型、U型、丸首の順に多く見られ、袖の長さは七分袖、半袖、長袖、フレンチ袖、袖なしの順に多く見られる。シュミーズでは、スリッパとほぼ同じ傾向が見られる。なお、パジャマのズボンの長さは、七分丈が多く、長ズボンも見られる。ズボンの裾口はゴムなどによって、しめつけた形のものはない。ネグリジェ、パジャマとも袖口は、つぼんだデザインが多い。色彩については、第3表のように、スリッパ、シャツ類は白が最も多く、着物式寝間着、ネグリジェ、パジャマはピンクが多く、ブルー、クリームがこれに次ぎ、黒、赤、その他の色はほとんど見られない。なお色柄、模様は、スリッパ、シャツ類は模様なしであるが、着物式寝間着、ネグリジェ、パジャマは3種類とも花柄、縞柄、格子柄、その他の順に多くみられる。

Table. 3 色 彩

種 類	白		ピ ン ク		ブ ル ー		ク リ ー ム		黒		赤		オ レ ン ジ	
	所持枚数	一平均当枚数	所持枚数	一平均当枚数	所持枚数	一平均当枚数	所持枚数	一平均当枚数	所持枚数	一平均当枚数	所持枚数	一平均当枚数	所持枚数	一平均当枚数
ス リ ッ プ	447	2.92	95	0.63	90	0.60	73	0.49	1	0.01	0	0	0	0
着物式寝間着	40	0.27	73	0.49	5	0.03	6	0.04	2	0.01	25	0.17	5	0.03
ネ グ リ ジ ェ	41	0.27	74	0.49	45	0.30	23	0.15	0	0	22	0.15	10	0.07
パ ジ ャ マ	26	0.17	78	0.52	18	0.12	19	0.13	0	0	0	0	5	0.03
シ ャ ツ	658	4.39	105	0.70	97	0.65	85	0.59	0	0	0	0	0	0

種 類	紫		淡 紫		え ん じ		緑		淡 緑		黄 緑	
	所持枚数	一平均当枚数	所持枚数	一平均当枚数	所持枚数	一平均当枚数	所持枚数	一平均当枚数	所持枚数	一平均当枚数	所持枚数	一平均当枚数
ス リ ッ プ	0	0	0	0	0	0	6	0.04	6	0.04	4	0.03
着物式寝間着	0	0	0	0	6	0.04	0	0	0	0	0	0
ネ グ リ ジ ェ	12	0.80	0	0	0	0	6	0.04	6	0.04	12	0.80
パ ジ ャ マ	0	0	6	0.04	0	0	0	0	0	0	2	0.01
シ ャ ツ	0	0	55	0.33	0	0	0	0	0	0	30	0.20

Table. 4は材質をあらわした。スリッパはナイロンが一番多く、ベンベルグ、綿の順で、その他合成繊維もかなり見られた。着物式寝間着は、ネル、綿、ネグリジェは、綿、ネル、パジャマ、シャツ類は綿の材質が多く見られる。織方として、スリッパはトリコット織が最も多く、メリヤス織、ちぢみ織、クレープ織、平織の順に見られる。着物式寝間着は平織、タオル織、綾織の順で、ネグリジェは、タオル織が最も多く、平織、トリコット織、クレープ織、ちぢみ織、綾織の順で、パジャマは、平織、タオル織、トリコット織の順に見られる。シャツ類は、

Table. 4 材 質

種 類	綿		ナイロン		テトロン		アセテート		ウーリーナイロン		ボンネル		ベンベルク		ネ ル		ビニロン	
	所持枚数	一平均当り枚数	所持枚数	一平均当り枚数	所持枚数	一平均当り枚数	所持枚数	一平均当り枚数	所持枚数	一平均当り枚数	所持枚数	一平均当り枚数	所持枚数	一平均当り枚数	所持枚数	一平均当り枚数	所持枚数	一平均当り枚数
スリ ッ プ	60	0.40	82	0.55	45	0.30	37	0.25	41	0.27	0	0	68	0.45	0	0	39	0.26
着物式寝間着	80	0.53	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	82	0.55	0	0
ネグリジェ	87	0.58	38	0.25	37	0.25	0	0	19	0.13	0	0	24	0.16	83	0.55	0	0
パジャマ	85	0.57	8	0.05	9	0.06	0	0	0	0	0	0	3	0.02	56	0.37	1	0.01
シ ャ ッ ツ	192	1.38	150	1.00	74	0.49	60	0.40	73	0.49	63	0.42	65	0.43	0	0	0	0

種 類	レーヨン		ビニロン		バンロン		ママロン		カシミロン		エクスラン		カネカロン		その他	
	所持枚数	一平均当り枚数	所持枚数	一平均当り枚数	所持枚数	一平均当り枚数	所持枚数	一平均当り枚数	所持枚数	一平均当り枚数	所持枚数	一平均当り枚数	所持枚数	一平均当り枚数	所持枚数	一平均当り枚数
スリ ッ プ	40	0.27	39	0.24	0	0	0	0	38	0.25	36	0.24	39	0.24	47	0.31
着物式寝間着	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ネグリジェ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.01
パジャマ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.01	0	0	0	0
シ ャ ッ ツ	60	0.40	62	0.41	63	0.42	63	0.42	66	0.44	63	0.42	0	0	67	0.45

メリヤス織が最も多く、トリコット織、クレープ織、ちぢみ織、綾織、平織の順に見られる。洗濯の回数は、Table. 5 のようである。スリッパ、寝間着、シャツ類ともに、夏は洗濯回数が最も多く、その他の季節では大きな差はみとめられない。寝間着では、10日に1回または、2週間に1回というのものもある。

Table. 5 洗 濯 の 回 数

種 類	四 季			
	春	夏	秋	冬
スリ ッ プ	2 ~ 3 日	毎 日	2 ~ 3 日	2 ~ 4 日
寝 間 着	3 ~ 6 日	2 ~ 4 日	3 ~ 6 日	3 ~ 6 日
シ ャ ッ ツ 類	2 ~ 3 日	毎 日	2 ~ 3 日	2 ~ 3 日

Table. 6 洗 濯 方 法

方 法	スリ ッ プ		寝 間 着		シ ャ ッ ツ 類	
	人 数	%	人 数	%	人 数	%
洗 濯 機	86	57	118	79	106	71
手 洗	64	43	32	21	44	29

洗濯方法では、Table. 6 のように、手洗いと、洗濯機の別について、洗濯機がほとんどで、スリッパのみ手洗いとする人が、寝間着、シャツ類に比べ多いようである。洗剤は、中性洗剤

がほとんどで、粉末、固形、いずれも使用している。なお、一部では下着専用として市販されている、ワコールウォッシュを使用しているものもある。

衛生上寝間着の着方について調べた結果、Table.7のように、寝間着を直接、肌に着る人は少なく全体の29%で、下にシャツ類を着て直接肌に着ない人の方が71%と多い。

Table.7 寝間着の着方

方法	人数	人数	%
肌に直接着る		44	29
肌に直接着ない		106	71

Table.8は、既製品か、仕立かについて示した結果である。この仕立は、自分でする。注文仕立とがある。スリッパ、シャツ類は、全部既製品で、寝間着は、着物式寝間着の仕立がわずかに35%ある。

Table.8 仕立方法

方法	種類	スリッパ		寝間着		シャツ類	
		人数	%	人数	%	人数	%
既製品		150	100	97	65	150	100
仕立		0	0	53	35	0	0

購入場所は、シャツ類は、デパートが最も多く、洋品店、その他で、スリッパ、寝間着類は洋品店、デパート、その他の順である。その他はプレゼント、自分で仕立したものなどである。購入する時の注意として、シャツ類は布地、サイズ、縫方、デザイン（色彩を含む）、スリッパは布地、サイズ、縫方、デザイン。寝間着は、布地、デザイン、縫方、サイズなどの順に関心度が強い。寝間着はシャツ類、スリッパと異なり、デザインを注意している。なお、平均金額は、シャツ類（パジャマ、ブルマースを含む）は、200～800円、スリッパは、500～800円、寝間着は、500～2,000円前後である。

商品メーカーは東洋レーヨン、旭化成、レナウン、グンゼ、帝人、日紡、鐘紡、ワコール、倉敷KKの順に使用している。

結 論

以上の結果から判断すると、下着の種類は、一般的には他にまだ多くの種類があるが、(1)ブラジャー、コルセット、ガードル、(2)スリッパ、キャミソール、ペチコート、着物式寝間着、ネグリジェ、パジャマ、部屋着(ガウン)、毛糸のチョッキ、(3)シャツ、ジュミーズ、パジャマ、ブルマースの14点が見られた。

1. ファンデーションについてブラジャーは平均1人2枚は持っているが、コルセット、ガードルの所持数が少ない、このことはまだ学生であるために下着の知識が少ないと思われる。部屋着、チョッキは所有者が少ない。肌着類は、やはり衛生上、また皮膚の汚れを吸収する目的のために、1人当りの所持枚数は多い。
2. 色彩は、ファンデーション、ランジェリー、アンダウエアの3種類ともに白、ピンク系統が多く見られる。

3. 材質としては、綿が多く、スリッパはナイロンが多く見られる。
4. 洗濯の回数、方法ともに洗濯機でするのが多い。やはり簡単にできることに原因するが、欠点として、摩擦が多いために、ほころびやすい。
5. ほころびる個所としてスリッパでは、胸、裾の位置についているレース、紐、縫目、お尻、背中（腰）の辺がずれるなどの順で悪くなっていく。寝間着は、袖付、袖口、脇縫、ボタン付け、ボタンホール、着物の場合、身ハツロ、衿がごろごろになる。シャツ類は、袖口、脇縫、袖付け、肩、衿ぐり、ボタン付けの順で悪くなっている。
6. 仕立の点で既製品が多く見られる。このことは最近では既製品も良いのが売られており、下着類は洋服のようにサイズが合っていれば、自分で作るよりデザインに変化があるので、このまれると考えられる。とくにシャツ、下穿きなどは、市販されている方が良い点がある。これらの結論から考えて、運動性について窮屈な点を訴えた者は一人もなかった、しかし、今後下着の製作については次の点に注意がはらわれることが望ましい。ファンデーション、ランジェリー、アンダウエアともに
 - a. レースは美しく、丈夫なもの。
 - b. 袖口、衿ぐり、裾口が伸びないもの。
 - c. 肌ざわりの良いもの。
 - d. 軽いもの。
 - e. デザインおよび、色彩では、寝間着類は見た目に美しく、しかも衛生的なものなどを選ぶことが必要である。

最後にこの報告をするに当たり、ご指導下さった、名古屋市立大学医学博士、青山光子助教授に対し深くお礼申し上げますとともに、この調査に協力して下さい、本学家政科の学生に対し感謝の意を表す。

参 考 文 献

- (1) 被服衛生概説, 庄司光, 光生館, 昭和35年5月, p. 119.